



Title	大阪大学低温センターだより No.119 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 2002, 119
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/20962
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

〈編集後記〉

今回は超伝導フォトニクス研究センター特集です。「たより」でこのような特集が実現されたことは超伝導フォトニクス研究センターの一員として大変光栄に思います。

超伝導フォトニクス研究センターについて、こう思われる方がいらっしゃるかと思います。「超伝導エレクトロニクス（旧組織名）じゃないの？」「超伝導フォトニクスって何？」「テラヘルツとどう関係があるの？」などなど。そう思われる方に是非目を通して頂きたいと思います。センター在職歴が最も長い萩行氏によってセンターの成り立ちが紹介されています。研究の中身ですが、4件の研究ノートで紹介しています。新しい職員を増強して走り出したばかりのためか研究テーマが若干発散気味のところもあるですが、今回の特集ではいずれも低温測定を利用したものを紹介しています。当センターの武器は、敢えて言うなら超高速・テラヘルツ分光技術と高温超伝導体及びその関連物質の物性を絡ませることです。これを念頭においてご一読頂ければ、概要をつかみやすいかと思います。

今回は超伝導フォトニクス研究センターを特集させて頂きましたが、寒剤ユーザーの方で「じゃあ次はうちを特集してくれ」とお考えの方がおられましたら、是非ご連絡ください。特に新しい組織には良い宣伝（？）の場になると思います。

編集会議では近く「たより」の装丁を新しくすることを検討しています。環境問題に配慮して表紙を再生紙にするのですが（中身はこれまで再生紙でした）、これを機に大きさもA4版に拡大する予定です。字が大きくなり見やすくなると思います。慣れ親しんだ表紙の色や本文の段組はこれまでのものを踏襲することにしています。長く「たより」をご覧になっている読者の方々はいかがでしょうか？何かご意見がありましたらご連絡頂きたいと思います。

（長島 健）

大阪大学低温センターだより 第119号

平成14年7月 発行

編集責任者 北岡 良雄

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話 (06) 6879-7985

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話 (06) 6850-6691

印刷所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話 (06) 6443-0936 (代表)

目 次

No.119

巻頭書

- ヘリウム液化機の思い出 中島 尚男 1

研究ノート

超伝導フォトニクス研究センターの紹介

- 超伝導フォトニクス研究センター 萩行 正憲 2

円孔配列薄膜フィルターのテラヘルツ電磁波透過特性

- 超伝導フォトニクス研究センター 長島 健 2

木村 裕司

萩行 正憲 4

テラヘルツから見たアンダードープ BSCCO の擬ギャップ状態

- 超伝導フォトニクス研究センター 村上 博成

斗内 政吉 10

極短光パルスで操る磁束量子

- 超伝導フォトニクス研究センター 斗内 政吉 16

超巨大磁気抵抗効果を示すマンガン酸化物のテラヘルツ波物性

- 超伝導フォトニクス研究センター 貴田 徳明

斗内 政吉 21

お知らせ

- 豊中分室ヘリウム液化装置更新について 28

- 投稿のご案内 29

- 運営組織 30

表紙説明：フェムト秒パルスレーザを用いて超伝導薄膜上に作製された磁束文字。（本文 P.16 参照）